

清須市行財政改革推進プラン（清須市第3次行政改革大綱）の中間まとめに係るパブリック・コメントの実施結果

1 実施期間

平成29年2月9日（木）から3月10日（金）まで（30日間）

2 意見提出通数

提出通数		1通
提出方法	窓口	0通
	投函箱	1通
	郵送	0通
	ファクシミリ	0通
	電子メール	0通

3 意見総数

意見総数		2件
内 容	(1) 財政運営	1件
	(2) 市町村合併	1件

4 意見の内容とそれに対する市の対応

(1) 財政運営

番号	意見	意見に対する市の対応
1	財政力指数が他の市町村（全国市町村平均等）と比べて良いからとあぐらをかいていると、足元をすくわれてしまう。	全国的に見ても本市の財政力指数は高くなっていますが、今後、高齢化の進展に伴う介護保険事業等に係る経費の増加や公共施設等の老朽化に伴って必要となる経費の増加が見込まれるとともに、本市特有の事情である市町村合併に対する財政措置が終焉を迎えるなど、厳しい財政状況が予想されます。 この点を踏まえて、本プランに基づいて、限られた経営資源を、真に必要な分野に重点配分するとともに、新たな財源確保を行うなど、持続可能な財政基盤の確立に努めてまいります。

(2) 市町村合併

番号	意見	意見に対する市の対応
2	若い世代の人たちから見れば、名古屋市との合併は魅力的だと思う。 名古屋市と合併することで、名古屋市バスの運行や清須市内の鉄道駅周辺の活性化、清洲城や朝日貝塚と名古屋市内にある文化財を組み合わせたイベントの開催、高齢パス、医療費助成、名古屋市内の施設を利用する際の優遇などのメリットがあり、税金等は高くなるが、もっと若い世代の人たちのことを考えて、早く北名古屋市と一緒に名古屋市と合併して欲しい。	市民の皆様が真に幸せになるのであれば、合併もその手段の一つですが、合併に際しては、関係市町の市民・議会・行政の思いが一つになる必要があり、現時点では、名古屋市との合併に関する関係市町の考え方には大きな隔たりがあると考えています。 このような状況の中で、本市にとって一番大事なことは、昨年12月に策定した、これからの本市の進むべき指針である「清須市第2次総合計画」や、それを下支えする本プランに基づいて、基盤づくりをしっかりと進めていくことだと考えています。